

5月23日
臨時議会

くわどり湯ったり村・ゆったりの家の新指定管理者に 「オーガニックリゾートホールディングス株式会社」

ヨーデル金谷は「株式会社ミーナハラライペ」 (これまでの従業員が新たに設立)

新指定管理者を提案

上越市は23日に臨時議会を招集し、6月1日からの「くわどり湯ったり村」「ゆったりの家」及び「ヨーデル金谷」の新たな指定管理者を提案し、同日可決されました。

これは、これまでの指定管理者「リフレ上越山里振興(株)」が、雇用調整助成金などの不正受給を行ったことから、指定管理を解かれたことによるものです。

市の提案では、「くわどり湯ったり村」「ゆったりの家」については、長野県内で温泉施設などを運営する企業「オーガニックリゾートホールディングス株式会社」を新たな指定管理者としています。

新たな指定管理者の指定にあたっては、希望者を公募し、応募があった3社の中で、市指定管理者選定委員会が選定したとのこと。市では、「安定的かつ適切な管理運営が可能である」と判断したとしています。

会社は新機軸を提案

同社が提案している事業計画の概要は次の通りです。

- ・ この施設を一つの村として運営し、世間話ができる雰囲気づくりや参加型イベントを多用し、日帰りでも楽しめて何度でも来たいと思える村を目指す。
- ・ 「食事を楽しむことは、人生を楽しむこと」をテーマとし、地元食材をふんだんに提供でき



くわどり湯ったり村

るメニューで、健康も意識できる食事を提供する。

- ・ 豊かな自然をフル活用し、農業体験、山菜採り、ホテル見学、鮭の遡上見学、雪遊びなど、年間を通じた体験ができるフィールドを創造する。

恵まれた環境を利用して、滞在中はデジタルデトックスを推奨し、自然の楽しさを感じ、贅沢な時間の流れが感じられる非日常を味わえる施設を目指す。

- ・ サステナブルな取組として、海洋ゴミを使ったワークショップや、ホテルや貴重な生物が生息できる環境を保全する取組を行う。

いろいろ工夫された事業計画であり、集客と安定経営が見込めることが、選定の決め手になったと見られます。

地元地域の活性化こそ

なお、この施設は、「西部中山間地域の豊かな自然と文化に触れる憩いの場を提供するとともに、地域の活性化に資すること」を目的に設置されており、地域のみならずにとつての宝物とも言える施設です。そこで、地域の活性化にどう貢献していくのか、地域のみならずとのつながりをどのように大切にしていけるかが問われています。

提案に対する質疑でも、この点が問われましたが、行政側は、「地元の組織やNPOにも協力してもらいたいので、市としてもそうした組織に働きかけたい」「事業計画には地元食材の活用やイベントの開催などの提案が盛り込まれている」などという答弁にとどまりました。いまま少し、踏み込んでほしかったですね。

文教経済常任委員会の審議でも、この点について「地元組織と定期的に協議する計画はあるのか」との指摘があり、市は「地域協議会や振興協議会に提案し体制づくりを行う」としました。

引き受ける業者は、温泉施設の運営には実績があるとのことですが、地域をどうもり立てていくのかという点では未知数のところもあり、今後どのように関係を深めていくかが問われます。

これまでの従業員が起業

ヨーデル金谷

一方、「ヨーデル金谷」については、この施設のこれまでの従業員が新たに設立した「株式会社ミーナハラライペ」を指定管理者に指定するとしています。これは、この施設の従業員には不正受給に関与した者がいなかったことと、市指定管理者選定委員会における適性審査の結果適性ありと判断された



ヨーデル金谷

ことを踏まえたとしています。

こちらの事業計画では、「地域生産物を活用した食を通じ、地域生産物の消費拡大と地域貢献を目指す」「地域の歴史や文化及びスポーツ施設・観光施設の情報等を提供し、地域の情報発信基地としての役割を担うとともに、地元町内会等と連携を図り、にぎわいと活力のある地域社会を形成するための一助となる運営を行う」などとしており、地域との連携や地域貢献に力を入れている計画になっています。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.789 2023年5月28日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))